

資料1について

- ①平成 27・28 年度に、市の各課が実施した文化・芸術に関連する事業(各種講座や催事・イベント等)を対象としています。
- ②基本目標・各方向性(別添)は、主たるものから順に左側から記載しています。また、基本目標の番号順に並んでいます。
- ③主な対象者、実施内容や課題、今後のビジョンについて、それぞれ記載しています。
- ④文化活動の形態、広報活動の媒体、協働・協力した団体、事業費について、それぞれ記載しています。
- ⑤自己評価については、当該年度における担当課の意見と、また、事業の計画に対してどのような結果であったのか S・A・B・C の4段階で記載しています。

S : 計画以上の効果があった

A : ほぼ計画どおり

B : 計画を、やや達成できず

C : 計画を達成できず

- ⑥「新規」とは、その年度から取り組んだ事業について、「継続」は、次年度も実施した場合(予定含む)についてそれぞれ○を記載しています。

資料2について

- ①文化施設3館(浪切ホール・自泉会館・マドカホール)が平成 28 年度に実施した文化・芸術の事業を対象としています。
- ②浪切ホールと自泉会館の指定管理者募集時(平成 27 年夏)において、計画の第6章で定めた、各施設の役割に沿った事業展開を求めています。実施は平成 28 年度からとなっています。
- ③浪切ホールは事業本数が多いため、別途、資料3をご覧ください。
- ④自己評価については、資料1と同様に、S・A・B・C の4段階で記載しています。

資料3について

- ①平成 28 年度に浪切ホールが実施した事業を記載しています。
- ②自己評価については、他の資料と同様に、S・A・B・C の4段階で記載しています。